

## 別添5

### 飼料増産優先枠により実施する事業

#### 第1 事業の内容

自給飼料の一層の生産拡大・高品質化や放牧を通じた省力的かつ効率的な飼養管理技術の普及を推進し、畜産生産基盤の強化を図るために飼料増産優先枠を設け、飼料増産に取り組む畜産クラスター協議会が実施する施設整備及び機械導入を支援するものとする。

#### 第2 飼料増産優先枠における特例

##### 1 施設整備事業

施設整備事業は別紙1に準ずるものとし、第3の畜産クラスター計画に位置付けられた取組であって、中心的な経営体が国産飼料の給与量を増やすための自給飼料生産量の拡大又は国産飼料利用数量の拡大に取り組むため、別記様式の飼料増産計画を作成し、その計画の達成に向けた取組を行う場合に限り支援対象とするものとする。

##### (1) 施設整備事業における特例

- ア 対象とする施設等の整備は、別紙1の第1の1の(3)自給飼料生産施設の整備及び(5)のうち(3)の施設の補改修並びに放牧関連施設の整備とし、放牧関連施設の補助対象の基準及び補助率については別表1のとおりとする。
- イ 別紙1の第6の2の成果目標は適用せず、給与飼料のうち国産飼料の給与割合を34%以上(放牧に取り組む場合にあっては、放牧地面積を1頭当たり50アール以上)とする成果目標を設定するものとする。なお、国産飼料の利用量及び成果目標の国産飼料の給与割合は、現状値を下回らないものとする。

##### 2 機械導入事業

機械導入事業は別紙2に準ずるものとし、第3の畜産クラスター計画に位置付けられた取組であって、中心的な経営体が国産飼料の給与量を増やすための自給飼料生産量の拡大又は国産飼料利用数量の拡大に取り組むため、別記様式の飼料増産計画を作成し、その計画の達成に向けた取組を行う場合に限り支援対象とするものとする。

##### (1) 機械導入事業における特例

- ア 補助対象機械装置については、別紙2の別表1に、飼料増産関係機械装置を加え、その仕様等は別表2のとおりとし、飼料運搬車については、飼料生産組織のうちTMRセンターが導入する場合に限るものとする。
- イ 別紙2の第8の2の成果目標は適用せず、給与飼料のうち国産飼料の給与割合を34%以上(放牧に取り組む場合にあっては、放牧地面積を1頭当たり50アール以上)とする、成果目標を設定するものとする。なお、国産飼料の利用量及び成果目標の国産飼料の給与割合は、現状値を下回らないものとする。

### 第3 事業の実施

飼料増産優先枠により事業を実施する場合にあつては、畜産クラスター計画において、飼料増産に係る取組内容、取組の実施等を通じて参画する構成員及びその取組における構成員の役割を明らかにした上で、畜産クラスター計画の目的、取組の内容、行動計画及び期待される効果を記載するものとする。

別表1（第2の1の（1）のア関係）

区分	補助対象基準	補助率
1 施設等の整備		
（6）放牧関連施設	1 放牧面積を拡大する取組に必要な施設であり、放牧地に固定するものに限る。 2 既存施設の補改修は除く。 3 整備する施設は、次のとおりとする。 牧柵（木柵、電気柵、ネット柵、金網柵（ロール状）、ワイヤーメッシュ柵（パネル状）等）	1 / 2 以内

別表2（第2の2の（1）関係）

補助対象機械装置	
機械装置の区分	仕様等
飼料増産関係機械装置	子実とうもろこし加工・調製機（飼料粉碎機等）、TMR運搬車（特装しているものに限る）、子実用とうもろこし収穫機（ヘッダー）、子実とうもろこし乾燥機

別記様式（第2の1及び第2の2関係）

飼料増産計画

取組事項	取組対象事項	取組の現状		達成目標		目標年度	目標達成のための取組計画 (具体的な取組内容を記述する。)
		有	無	単位 (面積・数量)	単位 (面積・数量)		
	飼料作付面積の拡大						
	青刈りとうもろこし等の高栄養作物の生産(供給目的の生産を含む)						
	アルファルファ等のマメ科飼料作物の生産(同上)						
	粗飼料(牧草等)の生産(同上)						
	稲わら(ストロー)の供給地域の確保(同上)						
	子実用とうもろこしの生産(同上)						
	生産性の向上						
	草地更新期間の短縮(供給目的を含む)						
	青刈りとうもろこし等の高栄養作物への転換(同上)						
	優良品種への転換(同上)						
	稲発酵粗飼料の品質向上(同上)						
	輸入粗飼料から国産粗飼料への転換(購入飼料を含む)						
	輸入とうもろこしから国産子実用とうもろこしへの転換(同上)						
	国産飼料の利用拡大(同上)						
	放牧の取組拡大						
	国産稲わらの利用拡大(飼料用の供給を含む)						
	エコファードの生産・利用拡大						
	その他飼料増産に関する取組						

注1:「取組事項」欄は事業実施に当たり、新たな取組や取組を拡大しようとする事項を選んでチェックすること。  
 注2:「現状での取組」欄は、現状での取組の有無をチェックすること(取り組んでいるすべての事項)及び取組状況の数値を記入すること(ha、トン、kgなど)。  
 注3:「達成目標」欄は取組計画数量(ha、トン、kgなど)を記入すること。  
 注4:「目標達成のための取組計画」欄は、目標達成のために実施しようとする取組の具体的な内容(手段など)を記入すること

○ 成果目標：国産飼料の給与割合

現状	達成目標
%	%